

横浜市保育所等利用保留児童実態調査
報告書

令和3年 11 月

横浜市

【調査概要】

(1) 調査の目的

4月の利用調整で認可保育所等を利用できなかった方を対象にその後の保護者の就労状況や子どもの保育状況等を把握、今後の保育行政の方向性と待機児童解消を目的とした子育て支援事業を検討する際の参考とするため、「保育所等利用保留児童実態調査」を実施しています。

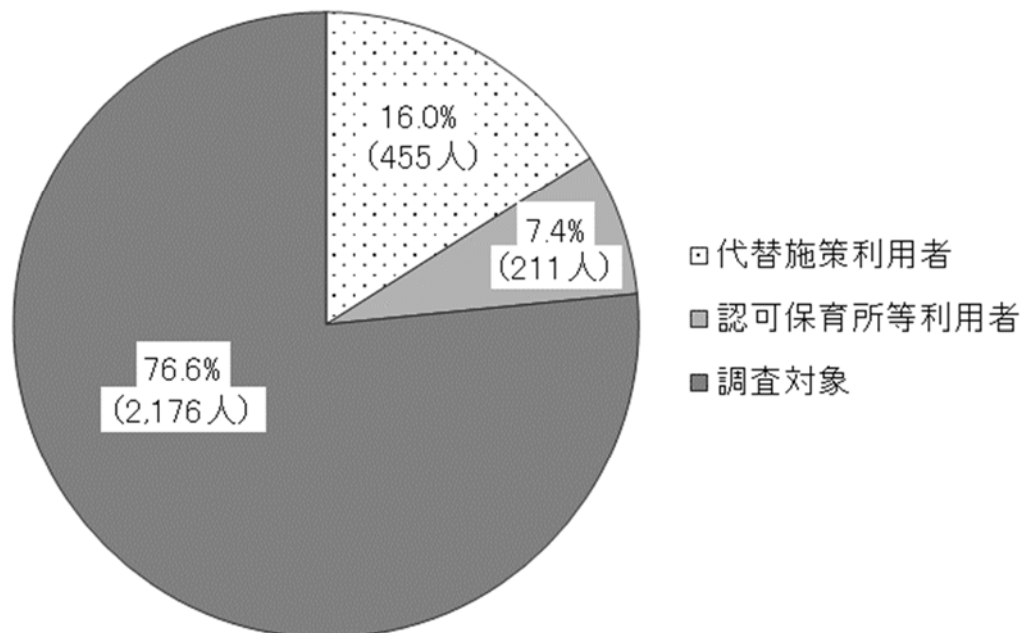
また調査等により、現在の意向を確認した上で、認可保育所等以外の利用可能な保育サービスが見つかった場合には、できる限り利用に結び付けることができるよう丁寧な保育サービスのご案内を、区役所を中心に行っています。

(2) 調査の概要

■調査地域：横浜市全域

■調査対象：令和3年4月1日時点で保育所等を利用できずに保留児童となられた方

※令和3年4月1日時点で保育所等を利用できずに保留児童となられた方(2,842人)から、4月1日時点で横浜保育室・一時保育・幼稚園預かり保育・事業所内保育施設・年度限定保育事業等の利用が確認できた方(455人)と、調査日(8月1日)時点で認可保育所等を利用している方(211人)を除いた2,176人が対象者です。



■調査対象人数：2,176人

※区別内訳

	調査対象人数
鶴見区	117人
神奈川区	170人
西区	91人
中区	61人
南区	97人
港南区	139人
保土ヶ谷区	99人
旭区	126人
磯子区	90人
金沢区	67人
港北区	258人
緑区	110人
青葉区	170人
都筑区	86人
戸塚区	256人
栄区	70人
泉区	101人
瀬谷区	68人
合計	2,176人

■調査方法

保育・教育コンシェルジュによる電話での聞き取り調査もしくは郵送等によるアンケート調査
※質問項目は、電話による調査、郵送による調査でいずれも同じ

■実施期間

令和3年8月1日～令和3年8月31日
※令和3年8月1日時点の状況について調査を実施

■回答数

1,866人／2,176人（回答率85.8%）

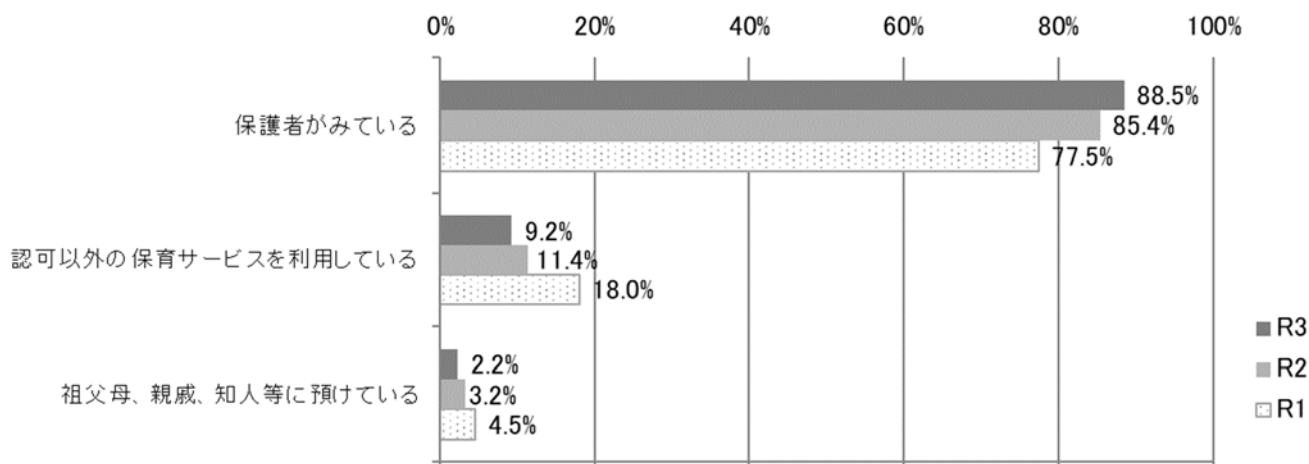
【調査結果】

1. 8月1日時点の保育状況

【令和3年度までの状況】

保育状況	R 1	R 2	R 3
保護者がみている	1,389 人	1,791 人	1,658 人
認可外の保育サービスを利用している	323 人	239 人	173 人
保護者以外の祖父母、親戚、知人に預けている	81 人	67 人	42 人
計	1,793 人	2,097 人	1,873 人

※複数回答可



2. 「保護者がみている」1,658人の内訳

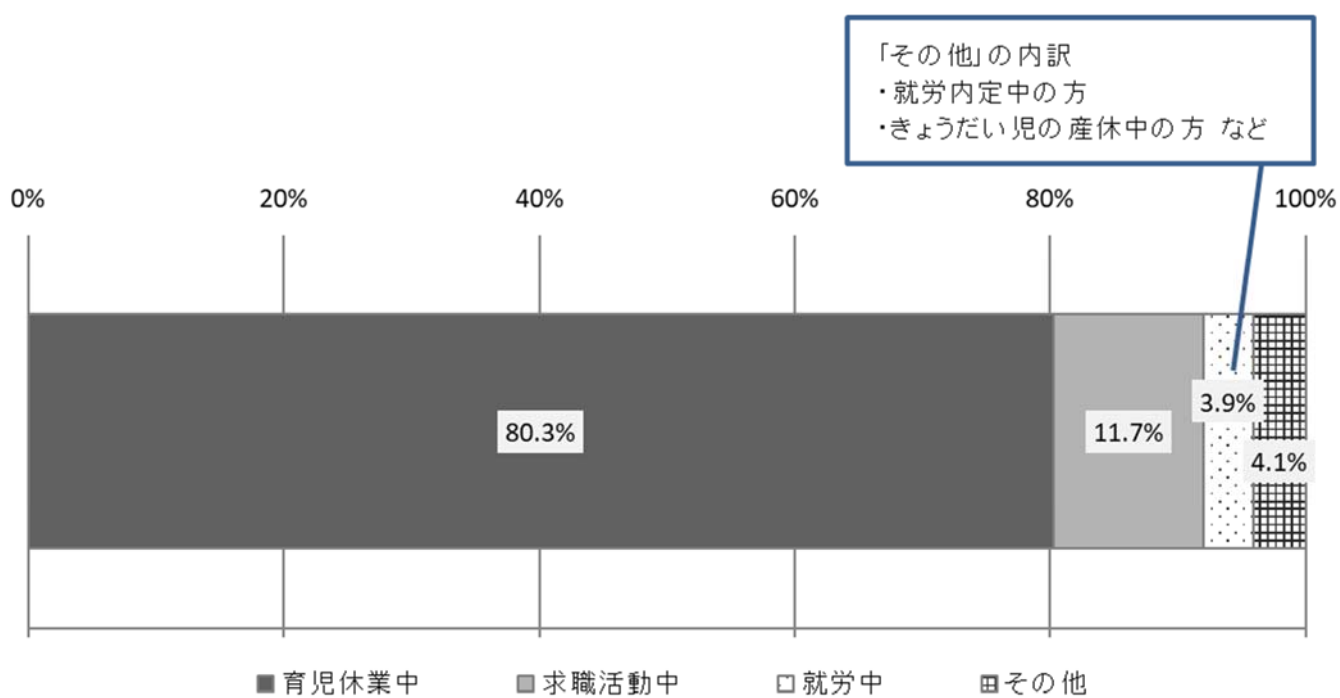
【状況別内訳】

1位「育児休業中」 80.3% (1,331人)

2位「求職活動中」 11.7% (194人)

【令和3年度までの状況】

保育状況	R 1	R 2	R 3
育児休業中	741人	1,228人	1,331人
求職活動中	402人	383人	194人
就労中	100人	64人	65人
その他	146人	116人	68人
計	1,389人	1,791人	1,658人



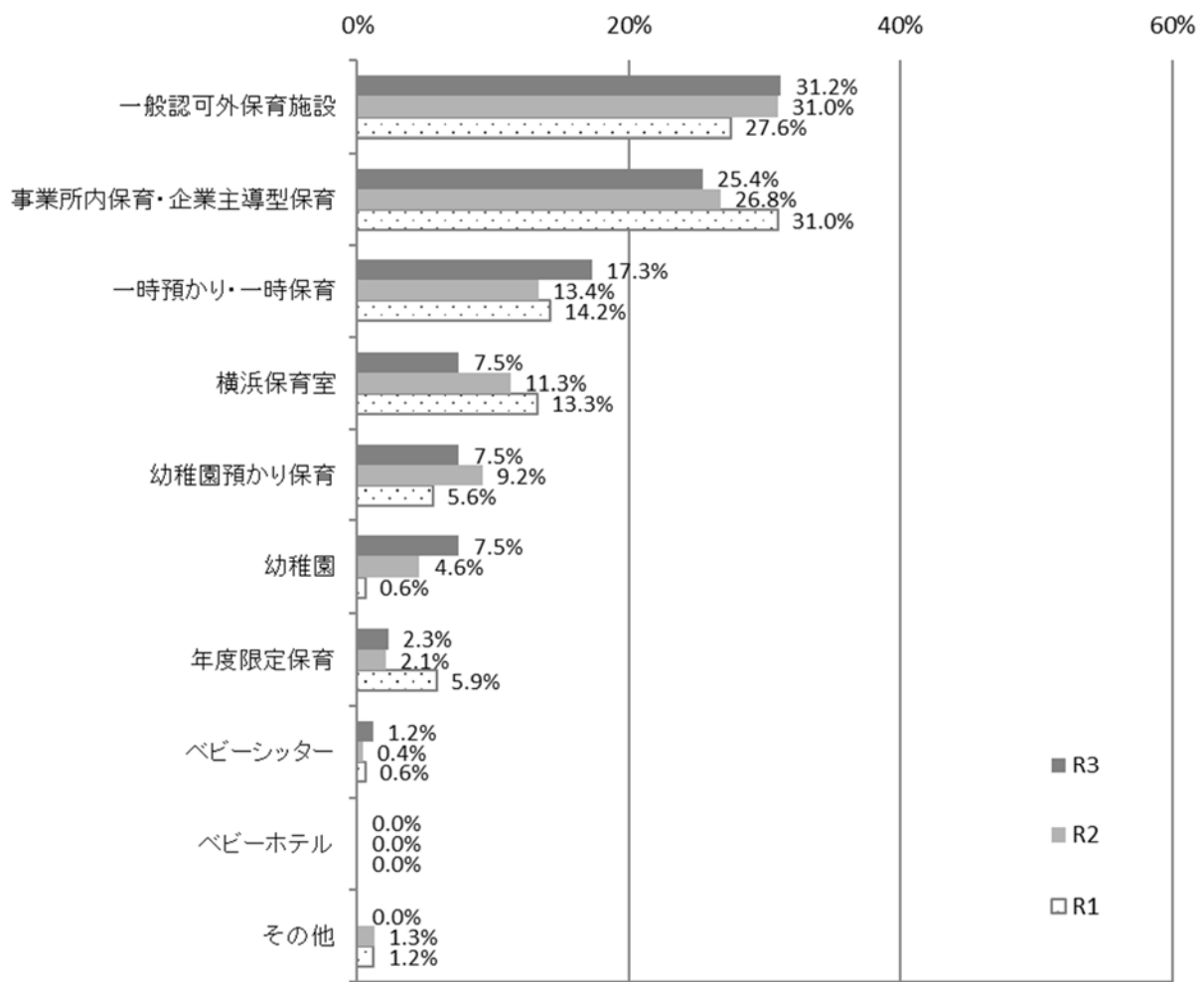
3. 「認可外の保育サービスを利用している」173人の内訳

【状況別内訳】

- 1位「一般認可外保育施設」 31.2% (54人)
- 2位「事業所内保育・企業主導型保育」 25.4% (44人)

【令和3年度までの状況】

保育サービス	R1	R2	R3
一般認可外保育施設	89人	74人	54人
横浜保育室	43人	27人	13人
一時預かり・一時保育	46人	32人	30人
事業所内保育・企業主導型保育	100人	64人	44人
年度限定型保育事業	19人	5人	4人
幼稚園	2人	11人	13人
幼稚園預かり保育	18人	22人	13人
ベビーシッター	2人	1人	2人
ベビーホテル	0人	0人	0人
その他	4人	3人	0人
計	323人	239人	173人



令和3年度保育所等利用保留児童実態調査 調査票

設問の該当するところに「○」もしくは記述をしていただき、同封の封筒にてご返送ください。

なお、調査結果は、今後の待機児童対策の取組の参考とするために使用し、回答内容が保育所等の利用調整に影響を与えることは一切ありません。

1 令和3年8月1日時点のお子さまを主にみている保護者の方の状況について該当する項目ひとつに「○」をお願いします。

チェック欄	項目
①	育児休業中 → 2へ
②	就労中 → 3-1、3-2へ
③	求職中 → 3-1、3-2へ
④	①～③以外 → 3-1、3-2へ

2 1で①を選択された方におたずねします。

令和3年4月1日時点の「認可保育所等」の利用意向の強さについて該当する項目ひとつに「○」をお願いします。

チェック欄	項目	【利用意向の理由の記載例】
①	今年度の利用意向が強く、必ず利用したい。	・新型コロナウイルスの影響(預けるのが不安、会社からまだ復職しなくて良いと言われた、など) ・希望する施設に来年度受入枠があるか不安 ・〇月には復職しなければならない ・預け先があれば復職しようと思う ・〇年〇月までは育児休業を取得したい ...など
②	今年度の利用意向があり、条件が合えば利用したい。	
③	今年度の利用意向は弱く、来年度以降に利用したい。	
④	今後の利用意向はほぼ無い。(幼稚園の利用を希望している 等)	
	(利用意向の理由:)	

3-1 1で②～④を選択された方におたずねします。

令和3年8月1日時点のお子さまの保育状況について該当する項目ひとつに「○」をお願いします。

チェック欄	項目
①	認可保育所等以外の保育サービスを利用している(複数回答可)
	<input type="checkbox"/> ア 横浜保育室・川崎認定保育園 <input type="checkbox"/> イ 事業所内保育事業 <input type="checkbox"/> ウ 企業主導型保育事業 <input type="checkbox"/> エ 年度限定保育事業 <input type="checkbox"/> オ 幼稚園預かり、通園(一時預かり幼稚園型、預かり保育私学助成) <input type="checkbox"/> カ 幼稚園2歳児受入れ <input type="checkbox"/> キ 幼稚園(教育時間のみ) <input type="checkbox"/> ク ベビーシッター <input type="checkbox"/> ケ その他認可外 <input type="checkbox"/> コ 一時預かり(認可、Y室)、乳幼児一時預かり、一時預かり(幼稚園型)、預かり保育私学助成
②	保護者以外の祖父母、親戚、知人に預けている。
③	保護者がみている
④	その他()

3-2 1で②～④を選択された方におたずねします。

令和3年4月1日時点の「認可保育所等」の利用意向の強さについて該当する項目ひとつに「○」をお願いします。

チェック欄	項目	【利用意向の理由の記載例】
①	今年度の利用意向が強く、必ず利用したい。	・新型コロナウイルスの影響(共働きせねばならない、預けるのが不安、働き方・預け先を見直した、など) ・希望する施設に来年受入枠があるか不安 ・今は祖父母等に預けられているが今後厳しい ・今の預け先は利用料が高い ・家から近い預け先があれば働きたい ...など
②	今年度の利用意向があり、条件が合えば利用したい。	
③	今年度の利用意向は弱く、来年度以降に利用したい。	
④	今後の利用意向はほぼ無い。(幼稚園の利用を希望している 等)	
	(利用意向の理由:)	

全ての方におたずねします。保育サービスの充実に向けて、ご要望等がございましたら、ご記入ください。

お子さまの氏名: _____ (生年月日: _____ 年 _____ 月 _____ 日)

ご協力いただき、ありがとうございました